

国大協企画第51号
平成23年6月22日

各国立大学長 殿

国立大学協会
入試委員会委員長 佐伯 浩

平成24年度大学入試センター試験における「地理歴史」、「公民」
及び「理科」の成績の利用方法について

平成24年度大学入試センター試験から地理歴史、公民及び理科の科目選択の弾力化により、大学入試センターでは、地理歴史、公民については2教科を同一の試験時間において実施、また、理科については従前のグループ制を廃止して1試験時間において実施し、それぞれ最大2科目を選択解答させることとなりました。

このうち、2科目受験者については、120分で2科目解答すること、60分経過後に第1解答科目の答案回収と第2解答科目の解答用紙を配付することとなっておりますが、120分かけて1科目を解答することも不可能ではなく、受験者間で不公平感を生じる可能性があるとの懸念があります。

このため、入試委員会では、別添の「見解」を取りまとめました。

については、2科目受験者に対して、高得点の1科目を採用する大学・学部等及び高得点の1科目を採用する方向で検討中の大学・学部等、並びに現在成績の利用方法を検討中の大学・学部等においては、第1解答科目の得点を採用することについて、改めて検討いただくことをお願いいたします。

【本件担当】

国立大学協会企画部 矢澤、伊藤
直通：03-4212-3512、3517
FAX：03-4212-3519
E-mail：kikaku@janu.jp

平成23年6月21日
国立大学協会入試委員会

平成24年度大学入試センター試験における地理歴史、公民及び理科の成績の取扱いについて

平成24年度大学入試センター試験における地理歴史、公民及び理科の試験の実施方法については、国立大学協会入試委員会として、大学入試センターに対し、複数科目の受験を指定する大学を志願する者の科目選択の幅を広げるように要請するとともに、「2日間の試験日程や受験生が試験当日に受験科目を選択できる」という基本的な枠組みを維持する方向で、大学入試センターと長い時間をかけて検討してきたところである。

その間、120分をかけて1科目を解答する受験生が出てくることが避けられず、受験者間で不公平感が生じる可能性があることについてもたびたび議論し、そのような不公平感が生じることを極力排除する方法を模索してきた。

しかし、最終的に大学入試センターは、5月31日に現在の試験実施方法を決定するのと併せて、現在の方法では、受験者間で不公平感が生じる可能性があるとの懸念を払拭できないことから、ブロック別の説明会等において、各大学に対し、「2科目受験者の成績の利用方法について、1科目を課す大学・学部においては、第1解答科目の得点を採用すること」を検討するように促している。

このような状況を踏まえ、国立大学協会入試委員会として改めて検討した結果、次のとおり「見解」を取りまとめた。

国立大学協会入試委員会の「見解」

平成24年度大学入試センター試験における地理歴史、公民及び理科の成績の取扱いについては、120分をかけて1科目を解答する受験生が出てくることが避けられず、受験者間で不公平感が生じることは望ましいことではない。そのため、既に高得点科目の利用を予告・公表している大学・学部等であっても、第1解答科目の得点を採用する方法に可能な限り変更する方向で再検討することが望ましい。